

六年生 国語 学習プリント



六年 組 名前

説明的文章「時計の時間と心の時間」 筆者 一川 誠

教科書 P48～56

1 次の事例は「時計の時間」か「心の時間」のどちらでしようか。例を参考にしながら考えてみましょう。④は自分で作ってみましょう。

<p>(例) カップラーメンはお湯を入れて三分で出来あがる。</p> <p>①ゲームに夢中になっていて、気が付いたらご飯の時間だった。</p> <p>②お母さんの買い物につき合わされたので一日が長かった。</p> <p>③この映画の上映時間は八十分で、他の作品と比べると短い。</p> <p>④</p>	<p>時計</p>
---	-----------

2 筆者の主張は、どの段落にどのように書かれていますか。

<p>段落</p>

3 筆者は「心の時間」の特性について四つの事例を挙げながら説明しています。その事例を見付けて、次の表にまとめましょう。

<p>事例1</p>	<p>楽しい時とたいくつな時の</p>	<p>時間の感じ方</p>
<p>事例2</p>	<p>()</p>	<p>() 時間の感じ方</p>
<p>事例3</p>	<p>()</p>	<p>() 時間の感じ方</p>
<p>事例4</p>	<p>()</p>	<p>() 時間の感じ方</p>

4 筆者の主張に対して、あなたはどのように考えましたか。次の手順に
そって自分の考えをまとめよう。

三つのうちのどれかに○をつけよう。

自分の考え	ステップ②	ステップ①
<p>へステップ①とステップ②を使って、自分の考えをまとめよう。く</p>	<p>へステップ①のことは、自分のどのような経験がもとになっているか。く</p>	<p>へ筆者の主張のどの部分に共感・納得・疑問に思ったか。く</p>

💡【学校が始まったら友達と考えを交流するのもいいですね。】